

■西国立駅周辺地域まちづくり構想(素案)説明会 主なご意見・ご質問の概要および市の考え方

素案説明会で皆様からいただいたご意見・ご質問の概要および市の考え方は以下のとおりです。

貴重なご意見等ありがとうございます。今後のまちづくりを進めていく上で、参考とさせていただきます。

なお、パブリックコメントとしていただいたご意見・ご提案につきましては、パブリックコメント意見募集結果として、別途市ホームページで公開いたします。

◆日 時：令和3年10月29日(金)PM7:00～8:00、令和3年10月31日(日)AM10:00～11:00、令和3年11月4日(木)PM7:00～8:00

◆場 所：たましんRISURUホール 小ホール

◆参加者数：68名(10月29日)、75名(10月31日)、34名(11月4日) 合計177名

主な意見・質問の概要	市の考え方
【1】まちづくり構想全般について	
前回までの説明と今回の説明は違うのではないのか。	意見交換会(第2回)でお示したまちづくりの将来像(案)や「土地利用」、「道路・交通」、「緑・景観」の3つの分野ごとの取組みの方針(案)について、概ね賛成といった意見が多かったことから、これを基にまちづくり構想の素案を作成しています。 本構想の対象範囲については、分野ごとの課題に応じてエリアを縮小・拡大し検討する必要があることから、「西国立駅周辺地域」とし、範囲を明確に限定していません。西国立駅周辺や、鉄道立体化により新たに生まれる空間を中心に、概ね駅周辺のまちづくりの影響が及ぶエリアを想定しています。 本市においては、令和2(2020)年は約184,100人であった総人口は、令和7年(2025)年の約184,800人をピークに減少していき、令和22年(2040)年には約177,600人とピークから約7,200人減少すると見込まれています。 本構想のまちの将来像に掲げているとおり、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指しており、特定の年齢層をまちづくりのターゲットにはしていません。 市では、人々の集まりやすい交通結節点である各駅の周辺は、それぞれの地域における「生活の中心地」として位置づけています。西国立駅周辺も、地域の特色を生かしながら、日常生活を支える機能を中心に集積を図り、その中で、この地域ならではのにぎわいも創出できたら良いと考えています。 市では、JR南武線の鉄道立体化を想定し、鉄道立体化事業に合わせて、その事業中や事業後に行う周辺まちづくりについて、目標を概ね20～30年後として本構想を策定することとしました。まちづくり構想とは、この地域が鉄道立体化を契機に“将来このようなまちになってほしい”といった、目指すべきまちの基本的な方針を示したものです。 現時点で時期や手法等は決まっておりませんが、構想策定後には、勉強会やワークショップ等で、地域の皆さんのご意見をいただきながら、まちづくり構想に掲げる将来像を実現するための取組みについて検討を進め、それぞれ具体的な事業計画の策定につなげていきたいと考えています。 なお、適宜振り返りや評価を行いながら進めていくものと考えています。
まちづくり構想の対象エリアの中に、市役所旧庁舎跡地も入るのか。	
羽衣町に計画されている都市計画道路の周辺地域は構想の対象地域に入るのか。	
20年～30年先の構想ということだが、少子高齢化が進む中で、立川市の人口予測やまちづくりのターゲットとなる年齢層についてどのように考えているのか。	
西国立駅から徒歩で行ける立川駅に大きな商業施設があるのに、予算を使って商業施設をつくる必要はないと思う。まずは、小学校・中学校の建て替え等に予算を使うべきと考える。高齢者の住みよい街より、子ども達の環境を整えるのが重要であると思う。	
「西国立駅」の“にぎわい”作りは不要と思います。“にぎわい”が分散すぎると良くないので、「立川駅」を中心に“にぎわい”を作った方が良いと思います。	
西国立駅周辺だけでなく、矢川駅周辺等でも連続立体的交差事業を契機として、にぎわいづくりを進めていくのかもしれないが、近いエリアの中で、かつ人口が減少していく中で、同じようににぎわいを創出していくのはいかなものかと思う。	
にぎわいのあるまちづくりとは、市の箱物をつくるのか、デパート等の商業施設をつくるのか。	
まちづくりについては、東側と西側は分けて考えるべきではないか。東側の開発は現実的に難しく時間もかかる。人口が大きく減少する中で、東側を開発するのか。西側は無門庵跡地と国有地という大きな土地があり、市が事業者との協議の中で比較적으로容易に開発できるのではないのか。	
いま西国立駅前が寂しいので、駅前広場をつくり、商店街を活性化することはいいと思う。立派な西国立駅となることを期待します。また、将来、若者達がいっぱい集まるようになることを期待します。	
子育てがしやすい、緑の多い、生活しやすい街をつくってほしい。	
あまりに先の話で夢物語のようです。	
20年～30年先の構想ということで非常にがっかりした。説明会に来ている人の半分も生きていないのでは。	
今回の構想は抽象的なものということであるが、具体的なことを話し合う場はいつ頃になるのか。	
構想を実現するための予算について具体的な話ができるのは、3年後なのか、5年後なのか、10年後なのか、もしくは決められないのか。	
具体的な話がなく、残念です。	
この度の素案説明会及び現時点での資料からはあくまで“構想”に過ぎないものと見受けられるが、調査・検討が進められた後、“構想”でなく具体性をもった“計画案”として、再度市民に提示されるのか否か。まさかと思うが、それがなされないまま事業が進んでいくなどということはないだろうか。非常に心配である。	
今後の進め方の協議会はどのようなスケジュールを考えているのか。いつ立ち上げるのか。	
まちづくりの体制について、住民側からはどのように参加できるのか。有権者や人口から見ると、どの様な割合になるのか。具体的な点があったら教えてください。	
20年後、30年後には環境が変わると思うが、5～10年後に構想の見直し等は考えられるのか。	
【2】土地利用について	
既存の公共施設の再編整備とは、公共施設を無くしていくということか。	再編とは、施設の使い方を見直し、機能を維持できるように、より効率的、経済的に施設の配置、面積、管理形態等を改編することです。本市の公共施設の多くは老朽化が進んでおり、今後、少子高齢化の進展により社会の担い手が減っていくことが見込まれているため、このまま施設を維持更新していくことが非常に困難です。安全で持続可能な公共施設を保有し続けるため、小中学校、図書館、学習館等の地域施設についても再編に取り組んでいきます。 公共公益ゾーンに建設を予定している子育て・健康複合施設には、ドリーム学園及び健康会館で担っている機能のほか、子育て支援機能を複合施設に移転し、「途切れない安心した子育てや健康な生活を支える拠点」として整備する予定となっており、駐車場についても一定数確保する予定です。RISURUホールや子ども未来センターについても、施設の老朽化を踏まえ、今後、再編・建替え等を考えていくこととなります。 駅前には、現在の商店街には無い業態や機能等を持つ生活利便施設を中心として誘導することで、お互いに補完し合い、活性化の広がりにつなげていけたら良いと考えています。今後、商店街の活性化に向けては、地元商店街を含めた地域の方々との勉強会やワークショップ等でご意見をいただきながら検討していきたいと考えています。 西国立駅前の未利用国有地については、現時点では処分の方針が明確に定まっていな土地であると認識しています。民間による駅前機能の拡充など、まちの将来像に望ましい土地利用の誘導を検討していきますが、暫定的な利用等も含め、計画が具体化した段階で国と協議していきたいと考えています。 用途地域については、西国立駅周辺の東側が中高層住宅や小さな店舗、教育施設や病院が建てられる第一種中高層住居専用地域、西側が中規模な店舗や事務所、ホテルなどが建てられる第一種住居地域となっており、羽衣中央通りの沿道についてはさらに大きな商業施設が建てられる近隣商業地域となっています。将来的な用途や高さ制限等については、都市計画マスタープランにおける生活中心地としての位置づけから、身近な地域における人々の活動や交流の中心地としての考えを基に、地域の方々との勉強会やワークショップ等でご意見を伺いながら検討していきます。
転居してきた時に、立川市は公共施設が分散している印象を受けた。錦町図書館等も古い。	
図書館、学習館、高齢者の集まれる施設を早急につくるのは難しいということであるなら、将来時間がかかってもよいので、施設の予定地を空けておいて、再編の時につくることはできないでしょうか。	
「子ども未来センター」の近辺に、市民の健康づくりの施設やカルチャーセンター(公民館)をつくってほしい。	
RISURUホールの北側に予定している子育て・健康複合施設の機能や駐車場ができるのかについて教えていただきたい。	
医療福祉の拠点とあるが、立川病院以外で何か施設をつくる予定はあるのか。	
文化・交流施設というのは、新たに何か施設をつくるのか。	
地元商店街には事前に説明すべきではないのか。	
住民と同様、商店街の方々にも意見を聞く必要があるのではないか。一般住民よりも影響があるはずではないか。	
商店街の活性化とあるが、対象は個人商店なのか。それとも大きい店舗等のことを言っているのか、また、新たに商店街をつくるのか等、市の考えを教えてください。	
国有地の利用について期限は設けられているのか。	
西国立駅西側の空き地はすぐに草が伸びたりするので、早く整備してほしい。整備はいつになるのか。具体的な時期が決まっていらないなら、せめてアスファルトにしてはどうか。	

生活利便施設等が充実したにぎわいのある駅前空間とある一方で、この地域には公共施設については前回つくらないと言っていたが、考え方は変わらないのか。つくらない場合、どのようにして利便性を高めていくのか。 国有地にスーパー等を誘致してほしい。 用途地域について、現況はどのようになっていて、将来的には高さ制限等どのようにしていく考えなのか。	
【3】道路・交通について	
南武線の立体交差化事業有りきの説明であったが、周辺の交通状況の改善は速やかに進めるべき。駅周辺にガードレールを整備する、車両一方通行にしての交通管理など、出来る改善を行ってほしい。 やすらぎ通りの南側は歩行者と自転車が分離され、歩道が整備されているが、北側は整備されていません。今回の計画で、上記の整備は検討されていますか。駅前整備により交通量が増えると思いますので、検討頂きたいです。(最低、ガードレールの整備など。) 第三中学校前の道は、国立さくら通りから車が誘導され、中学生が通学に利用する道路としては、道幅が狭いにもかかわらず車の交通量が多い。また、スピードを出す車も多く事故の危険性が非常に高い。立体交差化により、さらにスピードを上げ走行する車が出てくる事が予想されます。交通安全に向けた施策として考えられる、さくら通りから甲州街道に直結する都市計画道路の実現時期はいつ頃になるのか。 市からお願いして、立川バスやくるりんバスの本数を増やして、立川病院のロータリーを活用することができないのか。 西国立駅前までバスやタクシーが乗り入れる計画を実現してほしい。 南武線の立体化にはかなりの時間を要すると思うが、これとは別に、西側の開発を進めていく考えはあるのか。 国有地の活用が一番重要と思うが、その場合、現在の西国立駅舎の位置が国立側に動いた方がいいと思う。その可能性はあるのか。	交通安全上危険な道路については、現状の道路幅員の中で看板設置や路面標示といった対策を行っており、今後も適宜必要な対策について検討していきます。 さくら通りから甲州街道に直結する都市計画道路(国立3・3・15号線)については、「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」において、平成28年度～令和7年度で優先的に整備すべき路線として選定されています。 立川病院には病院利用者のためのバス停やタクシー乗り場はありますが、それとは別に駅利用者のための駅前広場は必要であると考えています。 市では、本構想に基づいて、鉄道とバス、タクシー、送迎者等の乗り換えの利便性向上を図るため、誰もが利用しやすい駅前広場及び駅にアクセスする道路の整備を検討していきたいと考えています。 現在、南武線の連続立体交差化計画については、東京都が鉄道立体化の構造形式や施工方法について検討を進めています。市では、連続立体交差化とあわせて、駅前広場など駅周辺のまちづくりを一体的に進めていきます。
【4】緑・景観について	
緑については、駅前の国有地に公園をつくるのか。また、つくるのであれば、どのくらいの面積のものを考えているのか。 駅前広場の位置には公園を希望していました。立川駅北口側は緑が多く空気が違います。是非南側にたくさんの緑やすぐに行ける公園をつくってください。 やすらぎ通りは立川病院が再建される前は桜の大きな木があり、桜が咲く頃は良いが、道が狭かった。緑が多いのは嬉しいが、大木になって困るような植樹が必要です。	本構想では、この地域に新たに公園をつくる考えは現在のところありません。 既存の公園や公共施設等のまとまった緑を街路樹や植樹帯等の緑、民有地内の緑で結ぶ緑のネットワークを形成することで、連続した緑の景観づくりを目指します。 また、道路に植樹する際には、誰もが安全・快適に通行できる歩行空間の確保に配慮し、地域の方々のご意見をいただきながら樹種等を検討していきます。
【5】その他	
鉄道立体化実現の可能性はどのくらいと考えているのでしょうか。中央線の高架化を思うと、とても現実的とは思えません。 JR東日本が「高架化しない」と言った場合、計画は白紙に戻すのか。それとも立川市として高架化するまでアプローチを続けるのか。(あきらめる基準はあるのか。) 同じ南武線でも、川崎方面よりは「開かずの踏切り」になっておらず、JRとしては高架化するメリットが無い。それよりも本数を増やしてほしい事をJRに要望するのが先決ではないか。 JR南武線の連続立体交差化の早期実現に向け、関係機関に働きかけていくと記載があるが、南武線の連続立体交差化はオーソライズされているのか。 南武線の連続立体交差化の工事着手や完成時期はいつ頃になるのか。また、矢川駅、谷保駅まで計画があるのか。 高架は、国立側から進むのか。立川市側からやるのか。国立市は高架化についてどう考えているのか。 JR南武線の連続立体交差化が高架化になるか地下化になるかによって、側道等の関係で道路のネットワークが変わってくると思うが、どのように考えているのか。 現在の駅舎の位置には東西にマンションがあるが、国立駅舎のように下を通行することは考えているのか。 立体交差化については、都とJRで策定しているとのことだが、その策提案が公表されるのはいつになるのか。立川市の方では、都とJRとの話し合いの動向を把握できているのか。 南武線の立体化についてもう少し詳しくうかがえそうですが、これに関して都は中心で考えているということで、あまり詳しい話が聞けなかったのは残念。線路側に住んでいる住民にとって立体化は景観や日照、音についても影響を受ける大問題です。このことについて意見を言い合える機会をもっていただけないのか。 良好な住環境の保全ということを掲げているが、連続立体交差化による、路線周辺区域の住環境がどのように変化するのか提示できない時点で、何をもって「保全」となるのか。利便性の高いまちづくりを構想するのは結構だが、その点について周辺住民に説明がなされないのであれば、行政や事業者が勝手に構想を進めているだけに過ぎない。 西側改札があると便利になると思うが、市の考えは。 西口改札についてどれくらいの費用がかかるのか、どのような検討をしたのか。 西国立駅の西口改札口の整備に多額の費用が発生するとの市の意見だが、どのくらいの費用見積りでのことなのか。また、実現は難しいとは、市だけの考えか、それともJR東日本からの回答によるものか。費用見積りでは、どこまで改札口の実現を想定してのものか。各案と各費用が知りたい。 西国立駅の西口側の臨時改札について、計画、予算的に難しいとのことですが、需要はあると思うので、例えばクラウドファンディングなどを利用するなど可能でしょうか。 南武線の連続立体交差化と都市計画道路(立3・3・30号線)は関連しているのか。 みのわ通りと羽衣いちょう通りを直接結ぶ現2公園を跨ぐ道路が計画されています。現在、地区のお祭り等の会場となっていますが、立体化後はどのようになるのでしょうか。第2・第3公園は1つの公園となるのか。 駅西側の無門庵跡地で行われている事業は、まちづくりに影響を及ぼすか。 西国立駅西側の無門庵跡地に温泉付ホテルが建設中だが、事業者と市の間で意見交換はされているのか。それでは、企業の求めるイメージがどういうものかお聞かせください。 何故西国立という駅名なんですか。	JR南武線矢川駅から立川駅付近では、多摩地域における主要な幹線道路である南北方向の立川東大和線や東西方向の新奥多摩街道などと交差することから、立体交差化が必要となっています。 このため、東京都は平成16年に策定した踏切対策基本方針の中で、本区間を鉄道立体化によって交差を検討すべき区間の一つとして位置づけました。 平成30年には、当区間が新規着工準備箇所として国に採択され、事業化に向けた具体的な調査を進める段階となりました。現在、東京都において、鉄道立体化の構造形式や施工方法について検討を進めています。 今後、東京都が都市計画手続・環境影響評価手続を進め、その中で説明会を開催するなど地元の声をとっていきます。その後、都市計画決定を経て事業認可取得後、工事に着手することとなります。 駅西側改札口の暫定的な整備についてですが、仮に市が暫定的な改札口の整備を請願し行うとすれば、整備費やランニングコストを全て市が負担することとなります。なお、立川駅北改札の例ですと、整備に約10億円、ランニングコストに年間1億円の費用がかかるかと聞いています。このようなことから、市として西側の暫定的な改札口については要請や協議を行っていく考えは持っていません。 都市計画道路(立3・3・30号線)は、多摩地域における南北方向の主要路線であり、「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」において、平成28年度から令和7年度で優先的に整備すべき路線として選定されています。西国立駅の北側と南側に位置する東西方向の都市計画道路と接続するとともに、国立市域において南武線と交差する道路であり、整備を見据え本構想を検討しています。 なお、みのわ通りと羽衣いちょう通りを直接結ぶ道路の計画はありません。 駅西側の無門庵跡地で行われている宿泊施設事業ですが、事業者の方からは、無門庵の歩んできた歴史、培ってきた文化を引継ぎながら、今まで組み合わせた事がないような要素も組み合わせ、新しい機軸をつくり、新しい価値を創造していきたいといった話を聞いています。 駅名の由来については定かではありませんが、駅名を改称するには駅名看板の取り換えや券売機などのシステム変更、路線図の書き換えなどの作業等により莫大な費用が発生することが想定され、市がJRに対し駅名改称を要望した場合、市がその費用を負担することとなります。それ以外にも影響が広範囲にわたることが想定されるため、現在のところ駅名の変更は考えていません。 ご指摘のありました国有地の雑草については、管理している財務省に対しご意見を伝えます。 また、道路の植樹帯や樹木の適正な管理に努めています。 今回の説明会開催にあたっては、広報及びホームページに掲載するとともに、羽衣町全域及び錦町の一部地域にチラシを全戸配布して周知を図り、多くの方にご参加いただきました。 説明会の資料が白黒で判りづらい点もあったかと思いますが、ホームページにカラー版を掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。 構想策定後も引き続き、構想を具現化していくため、地域の皆様と連携して勉強会やワークショップ等を開催し、ご意見を伺いながら、まちづくりに向けた調査・検討を進めていきたいと考えています。

駅名の変更が絶対必要である。西国立駅では国立市の駅名になる。南立川、東立川では。
西側空き地の雑草をなんとかしてほしい。大量のブタ草の花粉症で悩んでいる。布団が全く干せない。何十年もあのままでは苦痛以外の何物でもない。
立川病院の周辺の道路と新たな歩道と花壇の状況が雑草状態で、ゴミやたばこの投げ捨てが多く、今日の説明の緑化とは理想ばかり。
緑のまちづくりと言われ、自転車と歩行者用道路が立川病院周辺につくられたが、さるすべりの木は自転車で走行中に頭や顔にぶつかる状態で、景観としても美しくない。また、無意味なガードレールも不必要。植える木や花の選び方や手入れが不十分で、ごみを捨てられて困る。公共のお金をかけてつくるなら、グリーンスプリングスのようにセンスの良い、話題性や収益が見込める計画にしてほしい。
羽衣商店街から来ました。町会も含め、誰も説明会のことを知りません。もう少し話を皆に知らせては。
資料が白黒コピーでわかりづらい。カラーコピーにして下さい。
若い方の意見を聞く会をつくって頂きたい。
市の方の説明は、現場の住民の人達の生活を配慮していない。現場や住民の直接の声を足を運んで見に来てほしい。
説明会はとても丁寧で、考え方は理解できました。